

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和 5 年 5 月 8 日(月)	確認目的	工事の進捗、施工品質の管理
確認箇所	5・6号機敷地護岸ヤード、陳場沢川河口の北側護岸エリア		
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備 <input checked="" type="checkbox"/> その他

希釈放出設備の一部である、放水トンネルの設置工事が行われていることから、施行管理状況を確認した。

また、ALPS 処理水希釈放出にあたり、希釈用の海水に 5・6 号機取水路開渠の放射性物質が混入しないよう、開渠内から土砂を撤去（浚渫）し、環境改善を図っている。撤去（浚渫）した土砂の仮置き状況について、陳場沢川河口の北側護岸エリアの状況を確認した。

- ・ 放水トンネルでは、掘進が完了しており、トンネルの末端でシールドマシンは停止していた。確認した範囲でトンネルを構成するセグメントに損傷や著しい浸水は見られなかった。（写真 1）
- ・ 放水トンネル内では掘進作業に使用した資材等の片付けが進められていた。（写真 2）
- ・ 陳場沢川河口の北側護岸エリア内は、目測で 8 割程度が浚渫土砂で占有されていた。当日及び前日は降雨があったが、確認した範囲で土砂の流出や飛散等は見られなかった。（写真 3）

確認
結果

(写真 1-1) 放水トンネル末端の状況	(写真 1-2) 放水トンネル内の状況
(写真 2) 掘削作業で使用した設備等の状況	(写真 3) 浚渫された土砂の仮置き状況

【東京電力からの主な聴取内容】

- ・ セグメント設置時に大きな損傷は生じていない。軽微な損傷（トンネルの性能に影響はない）には印をつけており、今後補修する予定。
- ・ 高線量が確認された浚渫土砂については、低線量の土砂と混合し、表面線量率が下がったことを確認してから、仮置き場まで持ってきている。